

7月定例記者会見

1	開会	
2	市長あいさつ	
3	発表内容	
1	小山市地域おこし協力隊の募集について ～東京から約40分！ 小山市を第2のふるさとにしませんか？～	1
2	小山市役所新庁舎整備事業の起工式の開催について ～「夢・未来あふれる“新しい時代の行政創り”の中核拠点」となる新庁舎の 建設工事に着手します～	2
3	新庁舎建設工事の仮囲い設置に伴う「史跡小山評定跡の記念碑及び由来碑」の 移設について ～開運の礎・小山評定碑を将来の姿に～	3
4	関東能開大制作「メカニカルマーブルマシン※」の市役所展示について ～ビー玉を転がして工夫された機構の動きなどを見て楽しもう！～	4
5	中世小山一族探究事業 ～小山氏第11代当主小山義政公奉納の太刀のレプリカ完成報告について～	5
6	第1回おやまイクボス評定の開催について ～イクボスの輪を広げ、日本一の「働きたいまち」を目指して～	6
7	女子高生サマーセミナーの開催について ～将来なりたい自分になるために、新しい時代を生きる女子のために～	7
8	小山市特殊詐欺対策電話機等購入費補助事業の実施について ～ストップ！特殊詐欺！～	8
9	クビアカツヤカミキリ「特定外来生物」の撲滅対策について	9
10	「小学生家庭系ごみ減量・資源化『8レンジャー』」の取り組み状況について ～ごみ減量・資源化へ小学生による8レンジャーの活躍～	10
11	とちぎ結婚支援センター小山、成婚カップル3組目誕生 ～開運のまちおやま で縁結び～	11
12	市制65周年記念事業「思いつむぎノート（第2版）」の作成について ～大切な思いを伝えるために～	12
13	農作物の日照不足への影響について ～農作物への自然災害の軽減～	13
14	市街地でのイノシシの出没に係る対策について ～イノシシの活動範囲が拡大中～	14
15	豊穂川の一級河川指定について ～安全・安心なまちづくりを進めます～	15
16	堀ノ内橋開通式について ～小山市と栃木市を結ぶ架け橋～	16
17	「小山市交通実態調査（パーソントリップ調査）」の結果について ～20年前の動きと比べて、将来の交通のあり方を考えよう！～	17
18	思川西部区画整理事業地内への新規居住者は市外転入者が半数以上	18

19	小山市立東城南小学校プール一般開放について ～夏休みの小学校プールで水に親しみ触れ合おう！無料で試行開放します～	19
20	夏休み学びの教室「夏GAKUサプリー2019」について ～暑い夏、楽しく学んで、栄養補給！～	20
21	祝小山市制65周年、開館10周年「館野弘青彫刻展」開催について ～《貫一お宮之像》を制作した小山市ゆかりの彫刻家の個展～	21
22	小山 野球の日「小山 野球フェスティバル」について ～めざせ！野球の聖地～	22
23	お知らせ	
(1)	学校文化芸術体験事業の開催について ～舞台から学ぼう！“人が生きていく上で大切にすべきこと”～	23
(2)	「2019平和展」及び「広島平和記念式典中学生派遣事業」の実施について ～平和への思いを引き継いでゆくために～	24
(3)	小山市中学生ケアンズ派遣団結団式の開催について ～グローバルに飛び立て！小山の若い力！～	25
(4)	祝 小山市制65周年 地域支え合いフォーラムの開催について ～子どもたちの未来のために、みんながつながり支え合う地域づくりへ～	25
(5)	「おやまサマーフェスティバル2019」について ～清流思川に映る20,019発の華～	26
(6)	第6期 令和元年度 市職員着付け隊養成講座の開催について ～きもの文化を見直し、職員自らきもの文化に親しもう～	27
(7)	令和元年度「真綿かけ・糸つむぎ講習会」の開催について ～本場結城紬の伝統技法を未来へ繋ぐ担い手を養成～	27
(8)	科学体験バスツアーの実施について ～ものづくりで夏休みの思い出づくり！～	28
(9)	「第30回小山市工業大学セミナーの開催について」 ～あなたの能力 ステップアップ～	28
(10)	民泊セミナーの開催について ～自宅を民泊に活用し、外国人観光客と交流しませんか～	29
(11)	第8回キッズ・ユニバーシティ・おやま2019 の開催について ～キャンパスで一日大学生気分を味わおう！～	30
(12)	第41回人権講演会の開催について ～子どもの心をはぐくむ、大人たちの関わりについて～	31
(13)	『祝 市制65周年 第13回小山市ラジオ体操会』の開催について ～さわやかな 朝のスタートは 家族みんなでラジオ体操！～	31
(14)	「令和元年度 地震対応職員応急対策活動訓練」の実施 ～市職員一人一人の対応力を高め、市民を守る～	32

記者会見資料

総合政策部 総合政策課

1. 件 名

小山市地域おこし協力隊の募集について

～東京から約40分！ 小山市を第2のふるさとにしませんか？～

2. 内 容

小山市は、地域の活性化と交流人口・関係人口の増加を目指し、平成28年度より地域おこし協力隊制度を導入し、地域おこし協力隊2名を採用し「渡良瀬遊水地を活用した観光地化事業」、市周辺部に広がる美しい田園環境などの地域の魅力を小山市に滞在して体験してもらう「農泊推進事業」を通して小山市の魅力を全国に発信しております。

このたび、ふるさと納税制度を活用し、小山市の「美しい水と緑と大地」が生み出した米、地酒、肉など、数ある豊かな名産品を全国に紹介し、小山市の自然や文化、歴史を生かした特徴あるまちづくりを推進してもらうため「ふるさと納税推進事業」に関する地域おこし協力隊1名を募集いたします。

3. 募集定員（1名）

- ① ふるさと納税の企画や新商品発掘、小山市地場製品のPR
- ② 道の駅思川と連携したふるさと納税返礼品の梱包・発送、情報発信
- ③ その他、ふるさと納税推進に関すること
- ④ 上記①～③に係るウェブサイト、SNS等を活用した情報発信

4. 応募期間

随時

5. 応募要件

- ① 3大都市圏をはじめとする都市地域等に居住する20歳以上概ね45歳以下（平成31（2019）年4月1日現在）の方
- ② 隊員になった際には、小山市に居住出来る方
- ③ 普通運転免許を所持し、基本的なパソコン操作が出来る方

6. 委嘱期間

委嘱の日から令和2（2020）年3月31日まで

※双方の協議により委嘱日から最長3年間延長可能

7. 応募・問い合わせ先

〒323-8686 栃木県小山市中央町1-1-1

小山市 総合政策課 TEL 0285-22-9218

記者会見資料

総合政策部 総合政策課

1. 件 名

小山市役所新庁舎整備事業の起工式の開催について
～「夢・未来あふれる“新しい時代の行政創り”の中核拠点」となる新庁舎の建設工事に着手します～

2. 内 容

本庁舎の「建替え整備」については、総務省において創設された「市町村役場機能緊急保全事業」を活用し、令和2（2020）年度末までに現在地への建替えを目指すとの整備方針のもと、実現に向けた事務を進めています。

現在、新庁舎の「実施設計」及び建築基準法の規定に基づく計画通知等、所要の手続きを進めており、並行して6月より準備工事（建設予定地の地下埋設物の撤去等）を実施していますが、8月に予定している本体工事の着工に先立って、7月26日（金）に請負業者による起工式が開催されます。

3. 式典概要

- (1) 名 称 小山市役所新庁舎整備事業起工式
- (2) 日 時 令和元（2019）年7月26日（金）午後1時30分より
- (3) 主 催 戸田建設・久米設計・大森一級建築士事務所・板橋組・
齊藤組・保坂建築事務所・荒川電気工業・ヒタチ設備
特定建設工事共同企業体
主催者事務局 戸田建設株式会社建築工事部 小林・太田
電話 048-827-1336
- (4) 次 第 受 付 午後1時より
神 事 午後1時30分より
挨 拶 午後2時 5分より ※ 時間は目安
終了後、出席者で記念撮影
- (5) 出席者 建築主 小山市 関係者
来 賓 議会、自治会、商工団体、学校等 各種団体関係者
事業者 特定建設工事共同企業体 関係者

記者会見資料

総合政策部 総合政策課

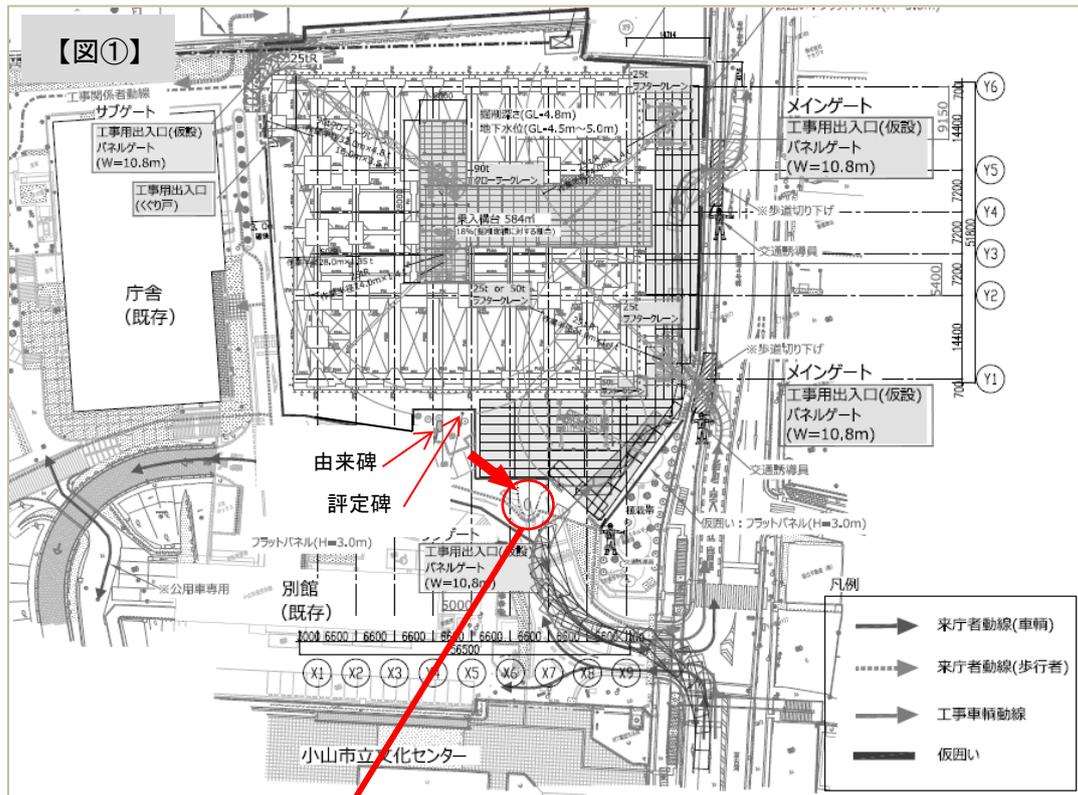
1. 件名

新庁舎建設工事の仮囲い設置に伴う「史跡小山評定跡の記念碑及び由来碑」の移設について ～開運の礎・小山評定碑を将来の姿に～

2. 内容

起工式を実施するにあたり、現在、新庁舎建設予定地に工事のための仮囲いを設置（7月5日（金）～7月17日（水）予定）しています。当面、「記念碑及び由来碑」に抵触しないように仮囲いを設置し工事を進めます（下図①参照）が、工事の工程上、本年9月頃には仮囲いが一部変更され「記念碑と由来碑」に抵触することから、「記念碑と由来碑」を移設します。

移設にあたっては、再移設を避けるため、基本設計で決定された「小山評定記念碑」予定地に先行して移設（下図②参照）を予定しています。



基本設計における
小山評定記念碑予定地

記者会見資料

総合政策部 総合政策課
産業観光部 工業振興課

1. 件 名

関東能開大制作「メカニカルマーブルマシン※」の市役所展示について
～ビー玉を転がして工夫された機構の動きなどを見て楽しもう！～

2. 内 容

小山市は、産業の振興による新たな雇用の創出など、国の地方創生と連動した小山市の発展を図るため、「社会整合性のある実践教育によって、変化に対応できる人材を育成し、社会の安定と豊かさに貢献する」を大学校の理念としている関東職業能力開発大学校と、相互に緊密に連携し、双方の持つ資源を有効に活用して地域の課題に迅速かつ適切に対応することにより、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的として、平成30年7月25日に連携に関する協定を締結し、連携・協力を進めてきたところです。

この度、同大学校が制作した「メカニカルマーブルマシン（※）」を市庁舎に展示し、実演を交えながら学生から来庁者に機構の説明を行うことで、小山市民の皆様にもものづくりへの興味・関心を持っていただく啓発活動を行います。なお、同マシンは、「農業・工業・商業フェス65」商工祭65等の市イベントでも展示協力していただきます。その他、関東職業能力開発大学校のPR・オープンキャンパスの周知、大学校セミナーの案内等もあります。

※メカニカルマーブルマシン（縦107cm＊横107cm＊高さ142cm）

ビー玉を転がして工夫された機構の動きなどを見て楽しむ装置。生産技術科生徒が学んだ機械仕掛けの基となる各種力学や機構学などを取り入れて制作。最後に、ビー玉がベルトから鉄琴に落ち「小山わがまち」の一節が演奏されます。

3. 日 時

令和元年7月31日（水） 12時から13時

4. 会 場

小山市役所 本庁 ロビー

記者会見資料

文化振興課

1. 件 名

中世小山一族探究事業

～小山氏第 11 代当主小山義政公奉納の太刀のレプリカ完成報告について～

2. 内 容

中世小山一族は、東日本でも屈指の勢力を誇り、特に第 11 代小山義政公の時代には、広大な領地を有する大領主となりました。

小山義政公は、応安（おうあん）5 年（1372）に現在の埼玉県久喜市にある鷲宮神社の社殿を再建し、一族の益々の繁栄を願い永和（えいわ）2 年（1376）に太刀を奉納しました。

小山市では、市制 65 周年記念事業として、この義政公奉納の太刀のレプリカ作成事業を進めておりましたが、この度、このレプリカが完成しましたのでご報告いたします。

3. 太刀の概要

実物の太刀の作者は、備中国、現在の岡山県の住人で吉次（よしつぐ）という末青江派（14 世紀の後半、南北朝時代後半～室町時代初期）に属する刀鍛冶です。

この太刀は、大正 3 年 4 月 17 日に国の重要文化財に指定されており、所有者である鷲宮神社から寄託されて、東京国立博物館に収蔵されています。

レプリカは、模造刀ですので、刃はついておりませんが、実物の太刀を忠実に再現しました。

刀 銘	備中国住人吉次	刀身の長さ	101.5cm
全 長	130.2cm	反 り	3.5cm
重ね（厚さ）	0.95cm		
彫 （表）	武州太田庄鷲山大明神（奉納先の神社）		
（裏）	永和二年卯月十九日 義政（奉納年月日 奉納者）		

4. 市民へのお披露目について

11 月 17 日の市制 65 周年記念式典のオープニングにおいて、この太刀を奉納した小山義政や、その子若犬丸などにまつわる悲劇を題材とした「太刀の舞」を創作し、小山安犬で子方を演じた二人により上演するとともに、太刀のレプリカを来場者の皆さんにお披露目する予定です。

新庁舎完成後は、情報展示コーナーに、本市の歴史のまちづくりのシンボルとして展示する方向です。

記者会見資料

総務部 男女共同参画課

1. 件 名

第1回おやまイクボス評定の開催について
～イクボスの輪を広げ、日本一の「働きたいまち」を目指して～

2. 趣 旨

長時間労働などこれまでの労働慣行を見直すとともに、部下のワーク・ライフ・バランスの推進や女性の活躍、男性の家事育児参画に対する事業所のトップの理解をより深めるため、平成30年10月に市長と市内40事業所の代表者で官民合同による「おやまイクボス合同宣言」を行い、この取組を継続するための協議会「おやまイクボス評定」を結成しました。また、新たなイクボスの輪を広げるために、おやまイクボス評定登録事業所を募集し、拡充を図っているところです。

このたび、登録事業所を対象に、第1回おやまイクボス評定を開催し、働き方改革や女性を活躍させるための先駆的な学びあいや情報交換会を実施することで、よりイクボスに対する認識を深め、「働きたいまち小山市」を目指すものです。

3. 日程及び内容

令和元（2019）年8月1日（木）16:00～20:00

第1部 【会場】道の駅思川 小山評定館研修室

◆「働き方改革」実務対応セミナー 16:00～17:00

テーマ：「働き方改革と女性活躍の推進」

講 師：目黒 ゆかり氏

三井住友海上経営サポートセンター 経営リスクアドバイザー

◆グループ交流会 17:00～17:30

第2部 【会場】道の駅思川 レストラン小山食堂さくら

◆懇親会 18:00～20:00

4. 問合せ先

小山市総務部男女共同参画課

〒323-0031 小山市八幡町1-4-5

TEL 0285-22-8078 FAX 0285-22-8079

記者会見資料

総務部 男女共同参画課

1. 件名

女子高生サマーセミナーの開催について

～将来なりたい自分になるために、新しい時代を生きる女子のために～

2. 趣旨

具体的なキャリアプランを考える時期にある女子高生を対象に、働く女性を取り巻く社会環境や女性のライフコースにおいて直面する課題について知識を得ると同時に、実際にそれら乗り越えてきた女性たちの経験談や話し合いを通して、将来の進路や職業観の形成に必要な視点を養い、自身が希望する職業に就き、キャリアを継続して活躍できる機会の提供を目的に実施します。

3. 日時

令和元（2019）年8月7日（水） 13時30分～15時45分

4. 会場

小山市役所大会議室北

5. 対象及び人数

市内高校等に在学及び市外高校等に在学で市内在住の女子高校生 30人

6. 内容

（1）女性活躍推進者からのメッセージ

講師：光畑 由佳氏（有限会社モーハウス代表取締役）

（2）パネルディスカッション

パネリスト

藤沼千春氏（藤沼労務管理事務所キャリアコンサルタント）

安藤良子氏（小山商工会議所女性経営者会会長、安藤動物病院院長）

秋山みどり氏（水戸証券株式会社小山支店長）

篠原和香子氏（栃木県女性農業士）

狐塚沙也香氏（テレビ小山放送株式会社、おーラジパーソナリティ）

平岡順子氏（平岡順子建築設計事務所代表、栃木県建築士会小山支部理事）

（3）グループワーク

7. 問合せ先

小山市総務部男女共同参画課

〒323-0031 小山市八幡町1-4-5

TEL 0285-22-8078 FAX 0285-22-8079

記者会見資料

市民生活部 生活安心課

1 件 名

小山市特殊詐欺対策電話機等購入費補助事業の実施について
～ストップ！特殊詐欺！～

2 要 旨

振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の手口は年々巧妙化し、被害が後を絶たない状況にあることから、小山市では、特殊詐欺の被害防止を目的に、特殊詐欺対策電話機等の購入費の一部を補助する小山市特殊詐欺対策電話機等購入費補助事業を開始いたしました。

3 内 容

(1) 補助の対象となる機器

詐欺被害防止のため、自動応答録音機能を有する電話機及び同機能を有する固定電話機に接続する補助機

(2) 補助金額

購入価格の2分の1(上限5,000円)※100円未満の端数は切り捨て

(3) 対象者(次の全てに該当すること)

- ① 小山市に住民登録のある65歳以上の方
- ② 市税の滞納がない
- ③ 令和元年6月10日以降に特殊詐欺対策電話機等を購入している
(申請は機器購入後6ヶ月以内、1世帯1台(1回)限り)

(4) 必要書類

- ① 補助金交付申請書
- ② 領収書又は購入日及び購入金額が確認できる書類の写し
- ③ 購入した機器が確認できる書類の写し(取扱説明書など)

記者会見資料

市民生活部 環境課

1. 件名

クビアカツヤカミキリ「特定外来生物」の撲滅対策について

2. 要旨

クビアカツヤカミキリについては、特定外来生物に指定されており、国内に生息する在来種のカミキリムシ類と比較し、繁殖力が非常に強く約3倍以上と言われております。

人体には直接の影響は無いものの、モモ、スモモ、ウメ、サクラ等の樹木に産卵し内部を食い荒らし、樹木を枯らす等の被害があることから、果樹等の農作物への影響が懸念されております。

6月21日にお知らせしたとおり、足利市、佐野市、栃木市について小山市内でも6月19日に、県内で4市目として、初めて被害が確認されました。

この被害木については、更なる被害拡大を防止するため、所有者の同意・立ち合いのもと、緊急措置として伐採・焼却処分が完了しております。

他市・他県の状況より、被害を放置すると年々被害が拡大する傾向が見られることから、小山市では初期対策が重要であると考え、先進事例を参考に撲滅対策を実施することとしました。

なお、被害拡大の対策手法としては、被害木の伐採・焼却処分が最良の方法ですが、所有者・管理者の費用負担が大きいため、被害木へ薬剤を注入し死滅させる方法が一般的と考えられております。

3. これまでの対策内容

小山市安全安心メール等にて、初めて被害が確認されたこと及び該当する樹木の確認について発信しました。

学校、公民館、道路、堤防等の管理者に対しても、市内全域の確認・報告を依頼し、被害の確認依頼があったものについて確認しておりますが、クビアカツヤカミキリの新たな被害は確認されておられません。

また、農地・果樹園等の生産者に対しては、県農林振興事務所が地元農協と確認をしておりますが、同様に被害は確認されておられません。

4. 今後の対策

- ①要綱を制定し奨励金を設定する等、市民からの情報提供を募るとともに、被害拡大を防止するための対策を進めてまいります。
- ②要綱により、被害木に注入する薬剤等を配布します。
- ③要綱が制定されるまでは、緊急措置としてクビアカツヤカミキリの被害の確認がされた被害木に市で購入した薬剤を注入する等の対応をいたします。

記者会見資料

市民生活部 環境課

1. 件名

「小学生家庭系ごみ減量・資源化『8レンジャー』」の取り組み状況について
～ごみ減量・資源化へ小学生による8レンジャーの活躍～

2. 要旨

家庭系可燃ごみが増え続けていることから、生ごみの水切り運動、雑誌や古布・プラ容器などの分別運動を徹底し、ごみの資源化によるごみの減量化運動を展開しています。

その施策のひとつとして、昨年度より市内の小学生（1～6年）を「小学生家庭系ごみ減量・資源化『8レンジャー』」として募集し、夏休みに家庭におけるごみの排出削減と資源化に取り組んでいただいております。

本年度は、小学生全員に応募していただけるよう、7月3日に開催された校長会にて、直接、募集のお願いをしてきたところです。

3. 募集内容

「小学生家庭系ごみ減量・資源化『8レンジャー』」に応募された方に、「ごみ減量・資源化カレンダー」を配布し、夏休み中の取り組み状況を記入して提出していただきます。

4. 取り組み内容（8つのごみの減量化・資源化・資源ごみの収集を行います）

- ①食事は残さず食べきります。（レッドレンジャー）
- ②生ごみは水切りをしてから出します。（ブルーレンジャー）
- ③空き箱やメモ用紙・使用済みの紙は、「紙・布類」の日に出すために分けます。
（イエローレンジャー）
- ④古い布は、「紙・布類」の日に出すために分けます。（パープルレンジャー）
- ⑤お菓子の袋やカップ麺などのプラ容器は、きれいにして出します。
（グリーンレンジャー）
- ⑥びん・缶は洗って出します。（オレンジレンジャー）
- ⑦ペットボトルは洗って出します。（ホワイトレンジャー）
- ⑧ペットボトルのラベルとキャップは、外してプラ容器の日に出します。
（ピンクレンジャー）

5. 今後の予定

※ 参加した『8レンジャー』の中から、成績優秀なレンジャーを、11月10日に行われる「おやまエコリサイクルフェア」において表彰し、記念品をさしあげます。（昨年は、日野自動車提供の「日野レンジャー」のミニカー）

記者会見資料

保健福祉部 子育て包括支援課

1. 件名

とちぎ結婚支援センター小山、成婚カップル3組目誕生
～開運のまちおやまで縁結び～

2. 要旨

小山市は、人口減少・少子化対策を重点施策と位置づけ、その「小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「結婚・出産・子育ての希望の実現」を基本目標とし、出会いの場の創出に取り組んでまいりました。

とちぎ結婚支援センター小山は、平成29(2017)年11月22日(いい夫婦の日)に開設し、結婚を望む独身の男女に出会いの機会を提供し、より効果的・効率的な結婚支援を行うため、1対1の出会いをサポートしています。

この度、小山センターでの成婚カップルの3組目が誕生したことから、これまでの実績について報告いたします。

3. 実績(累計)

(令和元年6月30日現在)

利用者数	5,020名
登録者数	571名
【内訳】	男 362名(63%)、女 209名(37%)
閲覧者数(お相手探し)	3,415名(延べ数)
引き合わせ数	517組(延べ数)
交際成立	191組(現在交際中40組)
成婚	3組(小山センターで引き合わせによる成婚)
1組目	平成30年11月、2組目 令和元年5月、3組目6月入籍

4. 今後について

センター開設1年7ヶ月を過ぎ、利用者数も増えてきたことから、成婚につなげるために、土日に結婚相談員を手厚く配置できるようシフトの調整等を行い、引き合わせ数を増やしてまいります。

また、会員向け相談会や会員同士の交流ができるようなイベントなど小山センター独自事業を実施してまいります。

記者会見資料

保健福祉部 地域包括ケア推進課

1. 件名

市制65周年記念事業「思いつむぎノート（第2版）」の作成について
～大切な思いを伝えるために～

2. 内容

高齢化の進行とともに、一人暮らしや高齢者夫婦世帯が増えています。このような中、小山市では市民一人ひとりが人生の最期まで、自分らしく暮らし続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築を進めるなかで、市民の皆様が今後の人生をより豊かなものにするため支援として2011年に第1版となる『思いつむぎノート』を作成し配布いたしました。

この度、このノートを通して歩んできた人生の振り返り、自分らしさの再発見、支えてくれる支援者への感謝の気持ちなどを見つめなおす機会となるよう、そして、大切な方とこのノートについて話し合っただけのよう、内容の見直しを行ない第2版作成をいたしました。

3. 印刷部数

7,400冊

4. 内容

- 第1章 わたしのこと
- 第2章 家族や友人のこと
- 第3章 健康のこと
- 第4章 医療や介護のこと
- 第5章 お金のこと
- 第6章 葬儀や遺言のこと
- 第7章 わたしのふりかえり
- 第8章 相談窓口について

5. 市民への配布

民生委員、高齢者サポートセンター、市内介護保険サービス事業所を通じて、独居高齢者等を中心に配布

記者会見資料

産業観光部 農政課

1 件 名 農作物の日照不足への影響について ～農作物への自然災害の軽減～

2 概 要

県内で今月7日までの10日間の日照時間が平年比5～26%（小山市6%）にとどまっております。小山農業協同組合、下都賀農業振興事務所によると、農作物への影響等は次のとおりです。

（1）水稻

- ・影響は現時点では見られておりません。
- ・いもち病の発生のリスクが高まっていることから、注意深く観察を行い、発生が見られた場合、早期に対処するよう、農業者に指導が行われております。

（2）園芸作物

- ・きゅうり、とうもろこしの収量が1割程度減少、なす、かぼちゃ等の一部、生育の遅れが見られております。
- ・園芸作物全般に、うどん粉病、べと病等の病気の発生が見られております。そのため、殺菌剤等の早期散布等の防除の徹底、栽培管理について農業者に指導が行われております。

記者会見資料

産業観光部 農政課

- 1 件 名 市街地でのイノシシの出没に係る対策について
～イノシシの活動範囲が拡大中～
- 2 概 要 小山市では市北西部思川周辺にて2015年度にイノシシ2頭が初めて捕獲され、2016年度に14頭、2017年度に46頭、2018年度は100頭が捕獲され急増しております。
また平成31年3月には市南部の間々田地区の市街地で初めて目撃されるなど、イノシシの活動範囲が広がっております。
- 3 目撃日時 令和元年7月8日（月）①午前11時頃 ②午後2時50分頃（2回）
- 4 目撃場所 ①若木町1丁目ごみ収集所周辺
②若木保育所西側の坂
- 5 経 緯 ①ごみ集積所付近でゴミを漁っているところを目撃、藪に逃げていった
②若木保育所西側の坂にて母子が歩いていたところイノシシ1頭が近づき、4号線方向へ逃げていった
- 6 対応状況 (1) 当該ゴミ収集所に注意喚起の看板設置〔済〕、周辺自治会内での注意喚起の回覧
(2) 周辺小中学校、保育所、高校へ注意喚起〔連絡済〕
(3) 当該ゴミ収集所においてイノシシに荒らされない対策を自治会と協議
(4) 小山警察署への情報提供及び巡回依頼〔依頼済〕
(5) 小山市安全安心メールによる注意喚起〔済〕
(6) 猟友会の協力による捕獲活動
- 7 その他 イノシシの活動範囲は広がってきています。イノシシを見かけたら慌てずに以下のように行動してください。
(1) あわてずにその場から離れる
(2) 驚かせないように行動する

記者会見資料

建設水道部 建設政策課

1 件名

豊穂川の一級河川指定について
～安全・安心なまちづくりを進めます～

2 内容

小山市では、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨で大きな被害を受けた豊穂川流域、及び杣井木川流域において、排水強化対策を進めております。

豊穂川流域の排水強化対策として、豊穂川を一級河川に指定し、国土交通省所管の交付金である「都市基盤河川改修事業」を導入し、「河道拡幅」、「堤防整備」及び「樋門増設」を実施することとしており、この度、豊穂川の一級河川指定が、7月5日付で国土交通省により行われました。

豊穂川の一級河川指定を受け、今年度から交付金を導入して河道の詳細設計を行うほか、排水強化対策の取り組みを進めてまいります。

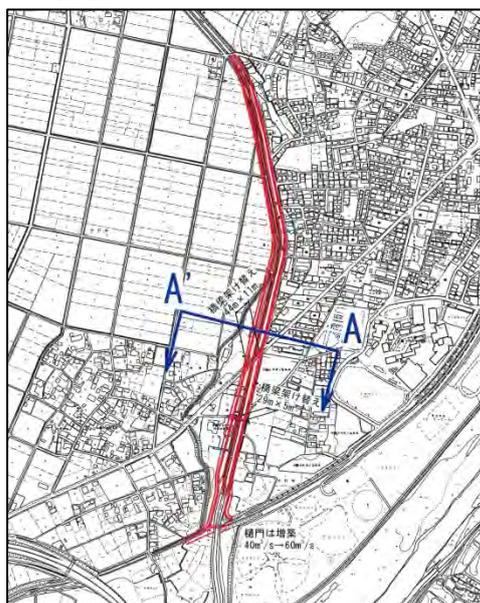
3 一級河川指定区間

上流端 小山市大字立木字間々下 1308 番 3 の大日橋下流端
下流端 一級河川思川への合流点

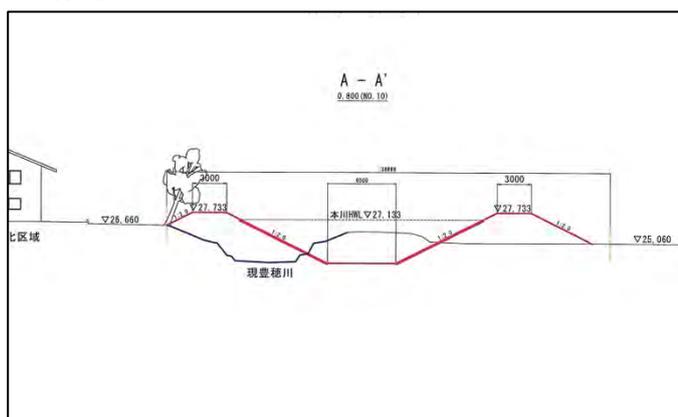
4 一級河川指定延長

約 1. 2 km

平面図



断面図



記者会見資料

建設水道部 建設政策課

1 件名

堀ノ内橋開通式について
～小山市と栃木市を結ぶ架け橋～

2 要旨

堀ノ内橋は、一級河川永野川に架かる橋長63m、幅員3.8mの橋であり、昭和47年に架設されました。

堀ノ内橋架け替え事業は、河川管理者である栃木県が実施する、永野川筋安全な川づくり事業（交付金）の河川改修工事に伴う堀ノ内橋改築工事により堤防の嵩上げや永久橋への架け替えを行い、令和元（2019）年7月29日に開通する運びとなりました。この橋の開通を祝して、堀ノ内橋開通式を開催いたします。

新しい堀ノ内橋は、橋長76.5m、幅員4mとなり、本橋の開通により小山市・栃木市それぞれの地域活性化と両市の更なる連携強化が期待されます。

3 日時

令和元（2019）年7月29日（月）10時00分～

4 場所

堀ノ内橋（小山市大字上泉地内）

5 内容

1) 開通式典

- ①主催者挨拶
- ②事業概要並びに経過報告
- ③来賓祝辞
- ④来賓紹介

2) 開通式セレモニー

- ①交通安全祈願
- ②テープカット
- ③記念撮影
- ④渡り初め

記者会見資料

都市整備部 都市計画課

1. 件名

「小山市交通実態調査（パーソントリップ調査）」の結果について
～20年前の動きと比べて、将来の交通のあり方を考えよう！～

2. 内容

小山市では、平成15年度に小山市の総合的な交通計画である『小山市総合都市交通計画』を策定してから15年が経過し、今後の人口減少・超高齢社会を見据え、誰もが移動しやすいまちの実現に向けて、道路交通網の見直しや、公共交通サービスの充実（新交通システム導入検討を含む）などの課題へ対応するため、計画の見直しに着手しています。

平成30年度に、計画の『基礎資料』となる「どのような人が」「いつ」「どのような目的・交通手段で」「どこからどこへ」移動したか、1日の人の移動を調査しました。その調査結果が取りまとめられましたので、計画の見直しに先立ち、結果の概要を公表します。

3. 調査方法

- (1) 調査対象者 小山市に居住する5歳以上の方
- (2) 調査方法 住民基本台帳から無作為抽出した世帯に調査票を配布。
(配布数：21,687世帯、49,331人)
郵送またはウェブサイトにて回収。
- (3) 調査日 平成30年10月の平日
- (4) サンプル数 6,525世帯、14,625人（回収率：29.6%）

4. 調査結果

約20年前（1999年）に実施した前回調査との比較を行ないました。

- (1) 【小山市民全体の動き】外出率は減少し（83.8%→78.1%）、このうち自動車による移動は増加して（60.4%→69.0%）約7割を占めています。
- (2) 【65歳以上の高齢者の動き】外出率は増加していますが（51.1%→58.4%）、依然として2人に1人は外出していません。外出している人のうち、自動車による移動は大幅に増加し（44.5%→76.9%）、徒歩・自転車による移動は減少しています。
- (3) 【15-24歳の若者の動き】外出率は減少し（90.6%→82.4%）、自動車による移動はやや減少し車離れの傾向があります。
- (4) 【5-14歳の子供の動き】自動車による移動（同乗・送迎）は増加しています。

記者会見資料

都市整備部 区画整理課

1 件 名

思川西部区画整理事業地内への新規居住者は市外転入者が半数以上

2 事業概要及び新規居住人口

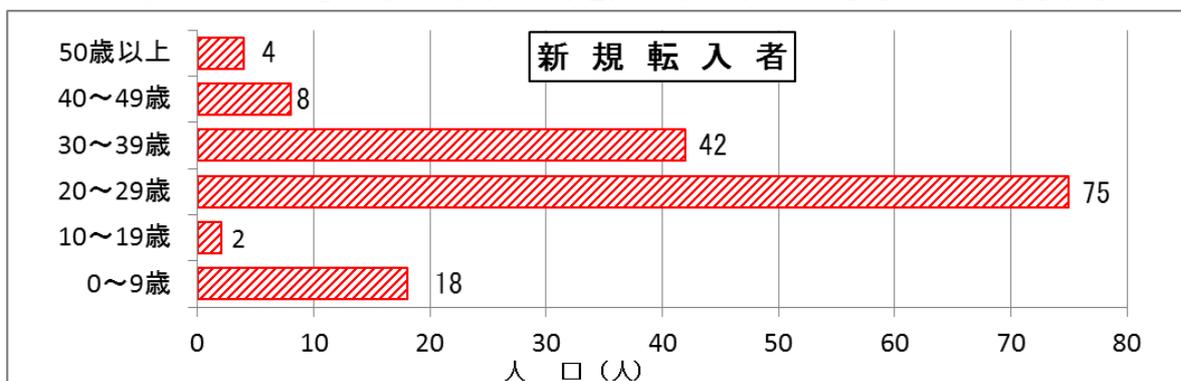
小山駅の西約2 km地点、面積 20.5ha の思川西部土地区画整理事業は、緑豊かでゆとりある都市環境の形成を目的とし、令和2年度末事業完了を目指して実施しています。

平成28年11月以降、大型商業施設オープンにより利便性が向上し、宅地開発が進んだ結果、新規居住者が増加(263人)しており、居住者の56.7%(149人)は市外からの転入者となっています。

項 目	世 帯 数 (世 帯)				人 口 (人)				戸 数 (戸)		
	既 存	転 居 ・ 転 入			計	既 存	転 居 ・ 転 入			計	
		市 内 転 居	市 外 転 入	小 計			市 内 転 居	市 外 転 入			小 計
既 存 住 宅	16	-	-	-	16	46	0	0	0	46	16
新 築 戸 建 住 宅	-	22	16	38	38	-	70	45	115	115	37
ア パ ー ト (一 般)	-	20	39	59	59	-	44	51	95	95	11
日 野 自 動 車 社 宅	-	0	53	53	53	-	0	53	53	53	9
計	16	42	108	150	166	46	114	149	263	309	73

3. 新規居住者の年齢構成

新規居住者の年齢構成は、20代105人(うち転入75人)、30代82人(うち転入42人)に次ぎ、10歳未満の子供が54人(うち転入18人)と、『子育て世代』が多く転入し、居住していることが特徴です。これは、日本一を目指す小山市の子育て環境が『子育て世代』に評価され、当地区が選ばれているものと考えられます。



4. 「小山市転入勤労者等住宅取得支援補助金」の活用

小山市では、移住・定住促進を目的として、住宅取得に伴い市外から転入した方に、一定の要件の下、「小山市転入勤労者等住宅取得支援補助金」を交付しており、当事業地内においても、16世帯中14世帯が、この補助金を活用しています。

同補助金は、市内に建築された住宅に対する基本額30万円に加え、子育て世代などに対する加算額や、区画整理の保留地を購入する場合の加算額等があり、最大で110万円の補助が受けられる制度です。

当事業内には、加算額の対象となる保留地7区画(令和元年6月20日現在)の他、一般の宅地が約5haあり、約200区画分(1区画250m²換算)の住宅用地が整備されています。

記者会見資料

教育委員会 教育総務課

1 件 名

小山市立東城南小学校プール一般開放について
～夏休みの小学校プールで水に親しみ触れ合おう！無料で試行開放します～

2 趣 旨

平成31年4月に開校した小山市立東城南小学校のプールを一般開放し、市民が気軽に水に親しみ触れ合う機会を確保するため実施するものです。本取り組みをモデルとして実施し、成果や要望があれば順次拡大していくことを検討します。

3 内 容

- (1) 場 所：小山市立東城南小学校（小山市東城南3-9-5）
- (2) 貸出プール：25mプール（7レーン）、低学年用プール（10m×6m）
- (3) 実施時期：令和元年8月10日（土）～18日（日）（9日間）
- (4) 開放時間：午前10時～12時
- (5) 対 象 者：小山市民（先着100名まで）
- (6) 料 金：無料
- (7) 駐 車 場：駐車スペースが少ないため、徒歩・自転車、公共交通機関等でお越しください。校庭に駐車することはできません。

4 その他注意事項

- (1) プールを利用する前に必ず自分の健康状態を確かめてください。
- (2) 盗難防止のため貴重品を持参されないようお願いします。
- (3) 天候等により、利用時間の変更・中止をする場合があります。
- (4) 小学校3年生以下は必ず保護者の方が同伴してください。
- (5) 利用する際は、受付簿に氏名等ご記入いただきます。
- (6) プールに入る前に必ずシャワーをあびて準備体操を行ってください。
- (7) 飛び込みやプールサイドでの駆け足など危険な行為や他の利用者の迷惑になる行為は禁止します。
- (8) シュノーケル・足ひれなど危険性の伴う遊具は使用できません。また、カメラ、携帯電話、スマートフォンなどによるプール場内での撮影はできません。
- (9) プール場内での飲食は禁止します。（熱中症予防の水分は可）
- (10) プールの安全管理のため、監視員を配置していますので、その指示に従ってください。

記者会見資料

教育委員会 教育総務課

1 件 名

夏休み学びの教室「夏GAKUサプリ2019」について
～ 暑い夏、楽しく学んで、栄養補給！ ～

2 要 旨

夏休みに公民館等で開催される学習会や体験活動等を一覧にまとめ、夏休み学びの教室「夏GAKUサプリ2019」としてパンフレット（別紙）を作成しました

3 内 容

小学校、中学校及び義務教育学校の児童・生徒に、ぜひ夏休みの宿題や自由研究等に挑戦するだけでなく、夏休みならではの体験活動等にも挑戦し、楽しく学んでほしいと考え、事業所ごとに学校を通じて、または、広報小山等で周知していました事業を一覧にまとめ、夏休み学びの教室「夏GAKUサプリ2019」としてパンフレット（別紙）を作成し、周知するものです。

タイトルについては、児童・生徒に、夏休みならではの様々な体験活動や興味あることに楽しく挑戦しながら学ぶことを通して、自分の可能性を伸ばしてほしいとの思いから「夏GAKUサプリ」と名付けました。

記者会見資料

教育委員会 車屋美術館

1. 件名

祝小山市制 65 周年、開館 10 周年「館野弘青彫刻展」開催について
～《貫一お宮之像》を制作した小山市ゆかりの彫刻家の個展～

2. 内容

小山市ゆかりの彫刻家・館野弘青（たてのこうせい、小山市小宅出身）（1916～2005 年）の展覧会。彫塑、木彫の技術を習得し、昭和 39 年には日展で特選受賞、以後日展審査員、評議員などを歴任しました。野外彫刻作品も多く《貫一お宮之像》（静岡県熱海市熱海海岸お宮の松前）は代表作であり館野芸術の集大成といえます。人体と内面の美しさを追求し続けた館野の造形性を紹介します。出品作品数 約 30 点

3. 基本情報

会期 令和元(2019)年 7 月 13 日(土)～ 9 月 8 日(日) 48 日間開催

休館日 毎週月曜日(7/15、8/12 は開館)、7/16(火)、26(金)、8/13(火)、23(金)

開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は閉館の 30 分前まで）

観覧料 一般 400 円（300 円） 高校・大学生 250 円（150 円）、中学生・義務教育学校生以下無料＊おやまミュージアム割引 小山市立博物館の半券（2019 年 4 月以降の日付印があるもの。年度内、1 回限り有効）で一般 100 円、高校大学生 50 円を割引

4. 関連事業

①オープニングセレモニー 7 月 13 日(土) 午前 10 時～

②ギャラリートーク

7 月 21 日(日)、8 月 12 日(月・休日)いずれも午後 2 時～

③鑑賞プログラム「美術館で こどももおとなも てつがく対話」

7 月 27 日(土) 小学生・義務教育学校 6 年生以下 午前 10 時 30 分～12 時、
中学生・義務教育学校 7 年生以上 午後 2 時～3 時 30 分

講師：生井亮司（彫刻家、武蔵野大学教育学部教授）

記者会見資料

教育委員会 生涯スポーツ課

1 件名

野球の聖地 小山 野球の日「小山 野球フェスティバル」について
～目指せ！ 野球の聖地～

2 趣旨

平成26年6月に県内初の「スポーツ都市宣言」をしている小山市は、特に野球が盛んで学童野球から中学・高校・大学・社会人・シニアまで世代を超えて盛り上がりを見せています。また、これまでも古くは元巨人江川選手、元ヤクルト広沢選手、現在はソフトバンク高谷選手、オリックスバファローズ成瀬選手など、多くのプロ野球選手も輩出。2016年には小山市を本拠地とする栃木県民球団・栃木ゴールデンブレーブスがBCリーグに加盟し、さらに女子野球、社会人野球(企業)も誕生するなど、市民の期待も高まっています。行政としても生涯スポーツの環境づくりを推進するとともに、野球を通じたスポーツツーリズムによる地方創生に取り組んでいます。

そこで小山市ブランドとしての野球のさらなる全国発信とスポーツツーリズムを通じた地方創生の促進を目的に、「野球の聖地 小山 野球の日『小山 野球フェスティバル』」を実施し「野球のまち小山」を県内外に発信するものです。

3 主催 小山市 小山市教育委員会 下野新聞社

4 日時 令和元年 8月 8日(木) 9:00~12:00
8月10日(土) 9:30~12:30 13:00~16:00

5 プログラム

【8月8日(木)】

○白鷗大学硬式野球部による少年野球教室
9:00~12:00(会場:白鷗大学野球場)

【8月10日(土)】

○親善試合 小山高校×栃木高校(第2回)
9:30~12:00(会場:白鷗大学野球場)

○小山 野球フェスティバル
13:00~16:30(会場:小山市文化センター)
・元読売ジャイアンツ 桑田真澄氏による講演 等

6 事務局(申込先)

「小山 野球フェスティバル」事務局
〒320-8686 宇都宮市昭和町1-8-11 下野新聞社営業局業務推進部
TEL: 028-625-1104 FAX: 028-625-1132

記者会見資料

総合政策部 文化振興課

1. 件 名

学校文化芸術体験事業の開催について
～舞台から学ぼう！“人が生きていく上で大切にすべきこと”～

2. 要 旨

市内児童の文化芸術の鑑賞機会の充実を図り、豊かな情操を涵養する事を目的に、劇団四季「こころの劇場」公演の鑑賞会を下記により開催いたします。

3. 内 容

- (1) 日時 令和元（2019）年7月12日（金）
午前の部 開演10時 開場 9時30分 終演12時
午後の部 開演13時30分 開場13時00分 終演15時30分
- (2) 会場 小山市立文化センター大ホール
- (3) 出演 劇団四季
- (4) 演目 ミュージカル「はだかの王様」
- (5) 対象 市内小学校・義務教育学校の6年生
- (6) 主催 小山市／劇団四季／（一財）舞台芸術センター

記者会見資料

総務部 行政経営課

1. 件 名

「2019平和展」及び「広島平和記念式典中学生派遣事業」の実施について
～平和への思いを引き継いでゆくために～

2. 趣 旨

小山市では、世界の恒久平和を強く念願し、平成4年に「平和都市宣言」を行いました。この宣言に基づき、核兵器の廃絶と恒久平和の実現について市民の皆様と考えていただく機会を提供するとともに、戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさ、平和の尊さを中学生に学んでもらうことを目的に実施するものです。

なお、平和記念式典中学生派遣事業については、平成26年度から野木町が、平成28年度から結城市も参加し、3市町合同で実施するものです。

3. 内 容

(1)「2019平和展」

- ①日 時 令和元(2019)年7月26日(金)～7月30日(火)
午前10時から午後6時まで(7月28日(日)は午後5時半、最終日は午後3時まで)
- ②場 所 小山市生涯学習センター ギャラリー・ホール
- ③主 催 小山市・小山市教育委員会
- ④展示内容 原爆被災写真パネル、平和ポスター、地域紛争記録写真、折り鶴、
広島平和記念式典中学生派遣団報告書の展示、募金コーナーの設置

(2) 小山・野木・結城合同広島平和記念式典中学生派遣事業

- ①期 日 令和元(2019)年8月5日(月)～7日(水)
- ②派遣先 広島県広島市 他
- ③派遣人員 55名
 - 特別派遣 小山市長・野木町長・結城市長・随行各1名 6名
 - 生 徒 小山市10中学校より2年生及び義務教育学校より8年生 男女各1名
 - 大規模校6校1名増員含む 28名
 - 野木町2中学校より2年生 男女各1名 4名
 - 結城市3中学校より2年生 男女各1名 6名
 - 引率者・事務局 小山市5名・野木町3名・結城市3名 11名
- ④活動内容
 - ア 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列
 - イ 広島平和記念資料館の見学
 - ウ 市内各学校及び平和展会場にて作成した千羽鶴を原爆の子の像に奉納
 - エ 被爆体験講話の受講
 - オ 各学校内において研修や体験の成果の発表

記者会見資料

市民生活部 市民生活課

1. 件名 小山市中学生ケアンズ派遣団結団式の開催について
～グローバルに飛び立て！小山の若い力！～
2. 要旨 国際化時代に対応するため、異文化を体験することで広い視野と豊かな国際性を身に付け、地域社会に資する人材を育成することを目的に、令和元年8月21日～28日まで、市内中学生をオーストラリア・ケアンズ市に派遣いたします。事業の開始にあたり、下記のとおり結団式を実施いたします。
3. 内容 ・日時 令和元年7月22日（月）午後4時00分～
・場所 小山市役所3階 大会議室

記者会見資料

地域包括ケア推進課

1. 件名 祝 小山市制65周年 地域支え合いフォーラムの開催について
～子どもたちの未来のために、みんながつながり支え合う地域づくりへ～
2. 要旨 人口減少・超高齢社会への対応策として「地域包括ケア」という考え方が誕生し、中でも身近な地域で支え合う仕組みづくりが急務といわれています。地域での見守りや日常的な生活支援など、互いに支え合う地域づくりをめざして、全国各地で活躍している講師を迎え、講演会を開催いたします。
また、基調講演に加え、既に精力的に活動されている市内自治会の先進的な事例を紹介し、市内全域への拡大を図ります。
3. 日時 令和元（2019）年8月31日（土）
【開場】13時30分 【開演】14時 【終了予定】16時
4. 会場 小山市健康医療介護総合支援センター 研修室
5. 内容 (1)活動報告 「生活支援体制整備事業の取り組み」
第1層生活支援コーディネーター 宮川ゆり子氏
(2)事例報告 「小山で取組む見守り・支え合い活動」
先進的に取組む自治会の活動紹介（2自治会予定）
(3)基調講演 「気にかけて支え合う地域づくり」
講師及び事例報告コーディネーター
ご近所福祉クリエイション主宰 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏
6. 定員 200名
7. 入場料 無料
8. 問い合わせ先 小山市役所地域包括ケア推進課 TEL 0285（22）9647

記者会見資料

産業観光部 商業観光課

1. 件 名

「おやまサマーフェスティバル 2019」について
～清流思川に映る 20,019 発の華～

2. 趣 旨

小山の誇る伝統と、豊かな自然を紹介するに相応しい「思川」を会場に、市民総ぐるみのイベントを開催し、市民の郷土意識を高めるとともに小山のイメージアップと、さらなる商工業の活性化と観光振興の推進を図ることを目的とし、2 日間にわたり盛大に開催します。

3. 内 容

◇オープニングカーニバル

日 時 7 月 27 日（土）午後 3 時 30 分～午後 9 時 30 分（雨天決行）

場 所 市役所西側駐車場他

内 容 市民参加型イベント、灯の舞パレード、「小山 YEG」暴れ太鼓、
ダンスおやま評定、よさこい、前夜祭ミニ花火ショー
※ステージイベントには、お笑い芸人「平野ノラ」、
「バッドナイス常田」が出演

◇第 68 回 小山の花火

日 時 7 月 28 日（日）午後 7 時 10 分～午後 8 時 45 分（荒天延期）

会 場 観晃橋下流思川河畔

内 容 市民花火・ナイアガラ瀑布・仕掛け花火・スターメイン等

① 「小山の花火応援エリア（カンパ席）」の新設

昨年立入禁止とした部分を、今年より「小山の花火応援エリア（カンパ席）」として新設。当日、エリア入口でカンパした方のみ入場可能な場所となります。※足元の状態は悪い場所となります。

② 有料観覧席の販売専用特設サイトを開設し、ウェブサイトや全国のセブンイレブン、ファミリーマートでの購入やチケット受取が可能。

○テーブルイス席 21,000 円～、マス席 15,000 円、プレミアムリクライニング席 15,000 円、階段席・芝生席 2,000 円（6 月 1 日から販売中）

③ 昨年に続き特設ステージにて、抽選で選ばれた 1 組がサプライズプロポーズをし、成功に合わせてお祝いのスターメインを打ち上げる「プロポーズ花火」を実施。

4. 主 催 おやまサマーフェスティバル 2019 実行委員会

記者会見資料

産業観光部 工業振興課

1. 件名 第6期 令和元年度 市職員着付け隊養成講座の開催について
～きもの文化を見直し、職員自らきもの文化に親しもう～
2. 要旨 市では、職員自らが着物に慣れ親しみ積極的に着物を着用するとともに、着付けの技術を習得し着付けボランティアとして活動することで、着物の着用を推進し、本場結城紬の需要の掘り起こしと生産振興を図ることを目的に講座を開催いたします。
3. 講師 福田 悟子(のりこ)先生(清水学園・福田和裁着付け教室室長)
4. 日程・講座内容 別紙カリキュラムのとおり
5. 開催時間 午後6時00分～7時30分
6. その他 受講者は、今後「第6期市職員着付け隊」として活動いたします。
なお、男性職員向けの着付け講座は10月15日、11月19日に開催予定です。

記者会見資料

産業観光部 工業振興課

1. 件名 令和元年度「真綿かけ・糸つむぎ講習会」の開催について
～本場結城紬の伝統技法を未来へ繋ぐ担い手を養成～
2. 要旨 市では、本場結城紬の需要を掘り起こし生産振興を図るために、後継者の育成と技術支援により本場結城紬の高度な伝統技術を後世への継承するため、原料部門での担い手の育成を目的に講習会を開催いたします。
3. 講師 結城紬伝統工芸士及び、伝統工芸士推薦の糸つむぎ従事者
4. 日時 別紙のとおり
5. 場所 ①真綿かけ講習会 : 桑・蚕・繭・真綿かけ・糸つむぎのさと
(福良1118-1 絹公民館南西端)
②糸つむぎ講習会A : 桑・蚕・繭・真綿かけ・糸つむぎのさと
福良1118-1 絹公民館南西端)
③糸つむぎ講習会B : おやま本場結城紬クラフト館
(中央町3-7-1ロブレビル1F)
6. 募集人数 ①真綿かけ : 7名程度、②糸つむぎ : 各コース10名程度
7. 申込方法 講習会とは別途開催予定の「真綿かけ・糸つむぎ体験会」にご参加いただいた方の中から募集いたします。(別紙参照)
8. 問い合わせ 小山市役所工業振興課 工業・結城紬振興係(22-9397)

記者会見資料

産業観光部 工業振興課

1. 件名 科学体験バスツアーの実施について
～ものづくりで夏休みの思い出づくり！～
2. 要旨 子ども達の理科離れが指摘される中、理科や科学に対する興味関心を高めるため、市内の製造業者や研究機関の協力を得て、生産現場や研究施設を見学・体験する機会を提供する。
3. 日時 8月19日（月）午前9時00分～午後3時00分
4. 場所 森永製菓(株)小山工場 及び 関東職業能力開発大学校
5. 見学・体験の内容 ①森永製菓(株)小山工場
：お菓子（キャラメル・エンゼルパイ・チョコボール）
の製造工程の見学
②関東職業能力開発大学校
：太陽光を利用した電子オルゴールの作成
※所要時間は各見学先1時間30分程度
6. 参加対象 市内在住の小学生親子40名
7. 参加費用 無料 ※ただし、昼食等は各自用意
8. 申込方法 7月1日（月）～7月19日（金）までに、直接又は郵送等により
申込む。ただし定員を超えた場合は抽選。
9. 問合せ先 小山市産業観光部工業振興課
TEL 22-9399 / FAX 22-9685
メール d-kougyo@city.oyama.tochigi.jp

記者会見資料

産業観光部 工業振興課

1. 件名 「第30回小山市工業大学セミナーの開催について」
～あなたの能力 ステップアップ！～
2. 要旨 多様化・高度化する技術革新等に対応するため、関東職業能力開発大学校の協力を得て、各種パソコンソフトの活用方法等に関するセミナーを開催する。
3. 日時 9月7日（土）、9月14日（土）午前9時30分～午後5時00分
4. 場所 関東職業能力開発大学校
5. 主催等 主催：小山市、小山商工会議所
後援：関東職業能力開発大学校

6. 講座内容

No.	講座名	定員（人）
1	3Dモデル作成と3Dプリンタ活用講座	20
2	WordとExcelの活用（初級編）	20
3	Excelの活用（ワンランクアップ）	20
4	フリーソフトによるデジタル写真の加工テクニック入門	20
5	PowerPointの活用～会議や自治会で役立つ資料づくり～	20
計		100

7. 受講対象 市内に在住又は勤務している方
8. 受講費用 1,000円/人 ※テキスト代含む
9. 申込方法 7月31日（水）までに、工業振興課又は小山商工会議所へ申込み。
申込多数の場合は抽選。
10. 問合せ先 小山市産業観光部工業振興課 TEL 22-9399
小山商工会議所 TEL 22-0253

記者会見資料

都市整備部 建築指導課

1. 件名 民泊セミナーの開催について
～自宅を民泊に活用し、外国人観光客と交流しませんか～
2. 日時 7月31日（水） 午後2時00分～午後3時30分
3. 会場 中出張所会議室（小山市大字下河原田864）
4. 内容 ①講演会
演題 「届出からAirbnbまで ゼロから始める民泊」
講師 （株）キープロダクション 川畑 重盛 氏
②民泊施設見学
市内民泊第1号となった築120年の古民家を見学します
5. 定員 20名
6. 参加費 無料
7. 申込先 小山市建築指導課空き家対策室（TEL 22-9824）

記者会見資料

教育委員会 教育総務課

1 件 名

第8回キッズ・ユニバーシティ・おやま 2019 の開催について
～ キャンパスで一日大学生気分を味わおう！ ～

2 趣 旨

白鷗大学・小山高等専門学校・関東能開大と小山市教育委員会が連携して、将来を担う子どもたちの知的好奇心を刺激し、学問へのあこがれを抱く学びの機会を提供することを目的に、小学校（義務教育学校）5・6年生児童および中学1年生・義務教育学校7年生生徒を対象に、「キッズ・ユニバーシティ・おやま」を開催するものです。

本事業は、小山市定住自立圏連携事業の一環として、参加者の一部を下野市、野木町、結城市からも募集します。

3 内 容

(1) 日時・会場

①令和元年7月15日（月・祝） 9時15分～15時15分 白鷗大学

②令和元年8月3日（土） 9時～14時30分 小山工業高等専門学校

③令和元(2019)年11月10日（日）9時30分～15時15分 関東能開大

(2) 参加対象 白鷗大学：募集定員60名、小山高専：募集定員45名
関東能開大：募集定員30名

(小山市・下野市・野木町・結城市の小学校（義務教育学校）
5・6年生児童および中学1年生・義務教育学校7年生生徒)

(3) 内 容

①体験講義

白鷗大学：見えている世界と見ている世界は同じ？（玉宮 義之 先生）

小・中学生のキャリアデザイン（カ石 正弘 先生）

法律を使って身近な事件を解決してみよう！（白石 智則 先生）

小山高専：手まわし発電機の製作（増山 知也先生）／簡単なモーターを作ろう！！（笠原 雅人先生）／2Dから3Dへ～建築模型を作ろう！～（崔 熙元先生）／ホバークラフトを作ろう（北野 達也先生）／界面活性剤で遊ぼう（酒井 洋先生）／いろいろな曲線を作ろう！（佐藤 宏平先生）

関東能開大：講座内容は、現在調整中

②学食利用体験

③キャンパスツアー・

(4) その他・開校式、閉校式を実施し、閉校式では参加者に修了証が授与されます。

記者会見資料

教育委員会 生涯学習課

1. 件名 第41回人権講演会の開催について
～子どもの心をはぐくむ、大人たちの関わりについて～
2. 趣旨 市民の皆さまに人権問題を正しく理解していただき、差別意識の解消を図ることを目的に、人権講演会を開催いたします。
今回は、小山市出身で、元宇都宮少年鑑別所所長であり、現在は法務省法務少年支援センター仙台（仙台少年鑑別所）所長である 紀 恵理子氏を講師に招き、『心をはぐくむ』というテーマで「子どもの人権や、大人たちの望ましい関わり方」などに関する講演をいただく予定です。
3. 主催 小山市、小山市教育委員会
4. 日時 令和元年 8月20日（火）12:30～開場 13:30～開演 15:30終了
5. 会場 小山市立文化センター 小ホール
6. 参加対象 市民
7. 講師 紀 恵理子（きの えりこ）氏 小山市出身、
法務省 法務少年支援センター仙台（仙台少年鑑別所）所長
8. 演題 『心をはぐくむ』
9. 備考 ・入場無料（手話通訳・要約筆記有り） ・座席は自由席

記者会見資料

教育委員会 生涯スポーツ課

1. 件名 『祝市制65周年 第13回小山市ラジオ体操会』の開催について
～さわやかな 朝のスタートは 家族みんなでラジオ体操！～
2. 要旨 『いつでも、どこでも、だれでも』気軽にできるラジオ体操を活用し、豊かな健康づくり、並びに明るく活気あるライフスタイルの実現を目的に、第13回を数えるラジオ体操会を開催します。
3. 内容 (1)日時 令和元（2019）年7月20日（土）
 - ①午前6時15分～6時20分 開会式
 - ②午前6時20分～6時25分 スポーツ立市おやまっ子体操
 - ③午前6時25分～6時30分 講師紹介
 - ④午前6時30分～6時40分 ラジオ体操
 - ⑤午前6時40分～6時50分 講師によるラジオ体操の指導
 - ⑥午前6時50分～7時00分 閉会・参加賞配布・解散
- (2)会場

小山総合公園 森のはらっぱ（雨天時：栃木県立県南体育館メインアリーナ）

(3) 講師 青山 敏彦 氏（元NHKテレビ・ラジオ体操指導者）

吉江 晴菜 氏（NHKテレビ・ラジオ体操実技アシスタント）

(4) 参加料 無 料

(5) 備 考 ①雨天の場合は、室内シューズを持参していただく。

②参加者全員に市制65周年記念参加賞を贈呈する。

③ラジオ体操カードを持参した幼児・児童には押印をする。

記者会見資料

消防本部 危機管理課

1. 件 名 「令和元年度 地震対応職員応急対策活動訓練」の実施

～市職員一人一人の対応力を高め、市民を守る～

2. 要 旨 災害時の初動活動は重要なことから、市職員が在庁時に震度5強の大地震が発生した場合、行うべき応急対策活動を理解し、迅速に初動対応に移せるよう訓練を実施します。

3. 実施日時・場所

(1) 実施日時 令和元年7月10日（水）12時15分から30分まで（雨天決行）

(2) 実施場所 3階大会議室及び市役所庁舎

4. 訓練概要

7月10日（水）12時15分に小山市を震源とする「小山市直下型地震」が発生し、地震の規模はマグニチュード6.9、震源の深さは10km、震度5強を観測しました。

この地震の発生を受けて、市職員は、小山市地域防災計画や小山市業務継続計画等に基づき、情報収集を行い各所属長の指示により災害対応に万全を期せるよう活動します。同時に災害対策本部員は3階大会議室を消防本部災害対策室と想定した災害対策本部に参集し各部対応を本部長（市長）に報告します。さらに総合相談窓口の開設訓練も行います。